

特別公開!

# 鶴林寺本堂 秘仏公開と 播磨の国宝巡り

一乗寺 (加西市)

# 鶴林寺

(加古川市)



●鶴林寺秘仏



●きよたに いっぷく堂

## 朝光寺

(加東市)



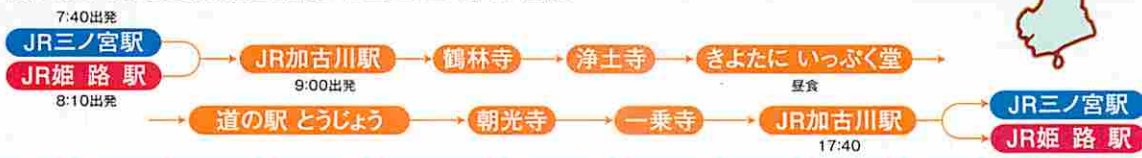
## 浄土寺

(小野市)



2012年10 / 9(火)・16(火)・23(火)  
11 / 6(火)・13(火)・20(火)

- 参加費 / 大人: 6,500円 小人: 6,000円 (お一人様・昼食付き) ※本堂秘仏・太子堂内陣特別拝観料含む
- 乗車場所 / ●A日程…10月9日(火)・23日(火)・11月13日(火) ●三ノ宮 / 7:40発 ●加古川 / 9:00発  
●B日程…10月16日(火)・11月6日(火)・20日(火) ●姫路 / 8:10発 ●加古川 / 9:00発
- 企画 / 神姫バスツアーズ(協力: 播磨の国宝巡り実行委員会)
- 「鶴林寺秘仏ご開帳と播磨の国宝巡り」行程表



神姫バスツアーズ株式会社 社支店

●申し込み問合せ

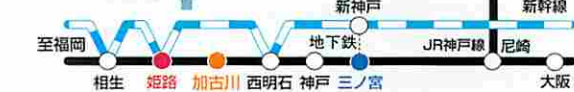
TEL.0795(42)6565

http://www.shinkibus.com/kanko/

●受付 / 月~土 9:30~18:00 ●日・祝休み

※詳しい旅行条件書をご用意しておりますので、お申込みの際ご確認ください。旅行条件は別途お渡しの旅行条件書、最終旅行日程及び募集型旅行約款によります。

あなたに会いたい



# 鶴林寺本堂秘仏公開と播磨の国宝巡り

●法華山

## 一乗寺

見学のツボ

「てりむくり」の屋根を持つ現存最古の三重塔。



法華山一乗寺は白雉元年(650)法道仙人開基の天台宗の名刹で、西国33所巡礼の26番目札所です。御詠歌にも「春は花 夏は橘 秋は菊 いつも妙なる法の華山」と詠まれています。

法道仙人は念持仏、大舎利と宝鉢だけを持ってインドから雲に乗って渡来したとされ、食べ物が欲しくなれば、宝鉢を飛ばして供養を受けたといわれています。この神通力が都にも聞こえ、孝徳天皇の病氣治癒祈願を行い、治癒の功績が認められて勅願により創建したのがこの寺と伝えられています。

閑静な山寺の境内には、藤原様式の秀作として名高く、兵庫県下で最古の塔でもある国宝の三重塔をはじめ、国重要文化財の護法堂、妙見堂、弁天堂があり、春の桜や新緑、秋の紅葉の季節は特に多くの参拝客で賑わいます。

また、宝物館には平安時代の彫刻で弘法大師像と伝わる像型坐像や法道仙人木造、さらに、白鳳初期に造られたと推定され県下最古の銅造仏である聖観世音菩薩像が展示されています。

【アクセス】

JR姫路駅よりバス  
「法華山一乗寺」下車すぐ

【お問合せ】

- 法華山 一乗寺  
……………TEL.0790-48-4000
- 加西市観光まちづくり協会  
……………TEL.0790-42-8740

●鹿野山

## 朝光寺

見学のツボ

特別に内陣を開放し見学頂きます。



朝光寺は、白雉2年(651)法道仙人の開祖と伝えられ、寺伝によれば、文治5年(1189)に北の権現山から現寺地に移され再建されたとあります。国宝の本堂の建立年代は、厨子裏側羽目板の墨書により応永20年(1443)に仏壇を造営し本尊を移したとあります。

和様と唐様を混合した折衷様式を呈した方七間の堂々たる建造物で、内部は密教寺院本堂の典型を示し、内外陣は格子戸と菱格子欄間で境が区切られています。

外陣は側一間通りを化粧屋根裏とし、中央部は虹張りを架け、鏡天井が張られています。内陣には須弥壇を置き、壇上には唐様の厨子があります。境内には、鐘楼(重要文化財)、姫路藩池田輝正公ゆかりの多宝塔(県指定文化財)があります。緑に包まれた静寂の中、近くのつくばねの滝の水音が聞こえてきます。

【アクセス】

JR社町駅よりタクシー約20分

【お問合せ】

- 朝光寺 吉祥院  
……………TEL.0795-44-0733
- 加東市観光協会  
……………TEL.0795-47-1304

●刀田山

## 鶴林寺

見学のツボ

太子堂内部と仏涅槃図復元模写図を特別公開  
新宝物館もオープンします!

鶴林寺は、聖徳太子が7歳の時、この地で排仏派の難を逃れていた渡来人の恵便法師から「木の丸殿」で仏教の教えを受け、のちに渡来人の秦河勝に命じて「四天王寺聖霊院」を建立されたのが始まりと言われています。その後、平安時代に「刀田山鶴林寺」と寺号を改めました。

境内には、和洋・禅宗様・大仏様の折衷様式の傑作建築として名高い本堂(1397年)と、兵庫県内最古の木造建築物である太子堂(1112年)の2棟の国宝建築物のほか、国重要文化財の常行堂、鐘楼、護摩堂、行者堂があります。

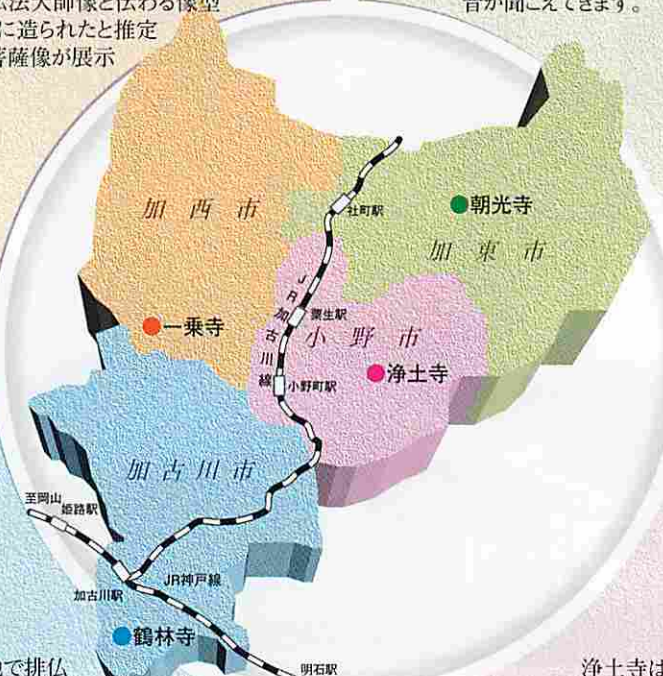
また、宝物館には白鳳時代の聖観音立像(国重文)や、平成14年に盗難に遭いながら取り戻され、修復された聖徳太子絵伝(国重文)など多数の寺宝が展示されています。さらに、今回、太子堂内部の壁画(国重文)が最新の科学分析により極彩色で復元された、原寸大の仏涅槃図復元模写図も展示しています。

【アクセス】

JR加古川駅よりバス(30分に1本)  
「鶴林寺」下車すぐ

【お問合せ】

- 鶴林寺  
……………TEL.079-454-7053
- 加古川観光協会  
……………TEL.079-424-2170



●極楽山

## 浄土寺

見学のツボ

西方浄土からのお迎えを体感できる歴史遺産です。

浄土寺は、源平合戦で焼失した東大寺を再建するための責任者となられた重源上人(ちょうげんしょうにん)が建久8年(1197)に建立した寺です。元々小野市の大部地区を中心とした田園は東大寺の荘園「大部荘」であったことから、この地を再開発して東大寺の再建費用を賄いました。その拠点として建てられたのが浄土寺です。

浄土寺にある浄土堂とその本尊である阿弥陀三尊はともに国宝に指定され、浄土堂は東大寺南大門と同じく中国の宋から伝わった大仏様式という建築技法を今に伝える貴重な仏教建造物です。また、阿弥陀三尊は鎌倉時代の名仏師、快慶(かいけい)の作によるもので、堂内に西陽が差し込むと、その光が堂内の床に反射して屋根裏にあたり、阿弥陀三尊にふりそそぎ、全体を赤く染めます。

この巨大な赤く金色に輝いた阿弥陀三尊が雲に浮かんだ様相は、まさに阿弥陀様が雲に乗って西方浄土からお迎えにくる「御来迎」の姿を連想させるもので、光を使った舞台芸術、光のオブジェともいえるものです。

【アクセス】

JR小野町駅よりタクシー約10分

【お問合せ】

- 浄土寺(歓喜院)  
……………TEL.0794-62-4318
- 浄土寺(宝持院)  
……………TEL.0794-62-2651
- 小野市観光協会  
……………TEL.0794-63-1929

